

みどりの杜俳句会

冬山の城主の墓所や空青し

佐山けさ子

木枯しや御堂の杜の空青し

高橋 きみ

窓際に柿干してあり帰り道

田村 好子

ベランダに大根干しあり杜の家

鈴木 啓子

冬の朝亡き母に似る顔の皺

馬場 芳

鬼柚子やでこぼこ表皮触れてみる

飯野はつ志

鬼柚子の持ち上げてみる重たさよ

梅沢きくえ

秋の山害獣狙う銃の音

山崎 才子

庭先のみかん日当り甘さ濃し

西 つる

鬼柚子の無様にふくれ面白し

今村千鶴子

寒の朝一人窓辺に空仰ぐ

安田 久子

井戸のそば隙なく赤しピラカンサ

吉田 愛子

朝日射しホール窓辺にシクラメン

高橋 ツ子

厚着して流れ星待つ夜更けかな

野口利江子

夕空に綿虫の舞ひ飛び去りし

関口 侑子

裏山の中ほど紅白梅ひらく

松本 孚子

初雪の舞ふやりハビリ室の窓

小林 和幸

ずわい蟹しやぶしやぶにして妻笑顔

金子 圭輔

初めての芽キャベツ実りやわらかし

小宮 勉

真つ白や登り下りの峠凍つ

岩崎 真人

御降りやかけ足となる詣道

谷内 真里

手を止めずつばやきながら毛糸編む

岡部富美子

土寄せて畑に大根残しあり

土屋 厚子

不揃ひの柚子の浮かひて冬至風呂

初雁 功子

蔵陰に染和紙干すや寒の入り

山田 美子

白石短歌会

初経験次から次とやって来る変に

静かな正月もこれが始めて

未来どうなる

渡邊美枝子

山間ひの谷津田に生ふる芹叢を

思ひつつ今日ははずな粥炊く

坂本 美江

広報に白石村長（英雄氏）の姿見て

声の聞え来正月の朝

白石 礼子

長々と年重ねしも鮮明なり

亡き友の絵画と思ひ出は

渡邊阿里子



人権シリーズ

376

『命を輝かせる「言葉」の大切さ』

私は、人権教育とは自他の命を愛おしむことだと信じています。

中学校の相談室で育てている植物は日を浴びて育ち、メダカは餌をよく食べ泳ぎ回っています。以前学校に来た迷い猫の情報はタブレット配信され、小さな命に心を寄せてくださる方々の声が届きました。私達の周りには、様々な命が輝いています。

ネット環境が進んできた今だからこそ、更に想像力を働かせ、自分の頭でしっかり考えて「言葉」を発することが必要となっています。

「ごめんね」素直にすっきり

「いいよ」許し許され軽くなる

「ありがとう」ほっこり

「次は気を付けるね」改善自覚

他にも様々あるでしょう。このように言葉に伴う経験が人と人を繋げ、自分を育てる財産となります。また時には、互いを分離させ責任が生じることもあるでしょう。言葉は大切ですね。

①今日のメッセージ

ほっとしたり、気づいたりして欲しいことを言葉で伝えます。

②いいね！の四つ葉

校内のいいね・ありがとうと思う行いを四つ葉型の紙に書いて知らせます。

これらの取組は、生徒のよいところを探して温かい言葉で伝えたい、プラス思考の大切さを広めたいと始めたことですが、私自身にも、「よいこと探しの習慣」をもたらしてくれました。書く度に満ち足りた気持ちになります。

よく考えて「言葉」を思い浮かべ、温かい気持ちで伝える努力をすれば、互いに尊重し合える関係に繋がることでしょう。それがひとりひとりの命を輝かせることになると思います。

東秩父中学校さわやか相談員 大塚 千栄子